



第虹十七回『ドラえもん』と「うまうましかじか」

考え



争う虫も

好きずき

弦楽器イルカ ⇒ 友人



唐突だけど、前から自分のなかで疑問だったことについて、自分なりの答えが出せたので、まずはそこから。

その疑問とは、どうして人は意見が食い違うものなのか？

原発の問題、安保法案の問題など、ある人は賛成、ある人は反対と、真逆の意見がでてくるのはなぜなのか？ というもの。

自分の答えは、未来はあまりにも複雑で予想が難しい。しかし、未来の為に何か行動しなければならないし、そのためにあまりにも不確定なことについても、暫定的にYesやNoと決めなければならないから。

なんか当たり前すぎてつまらないけど、そうなんだと思う。時間は限られているので、真の答えがでるまで何もしないわけにいかず、暫定的であれ答えを求めるしかないということにあると思う。

これが人間の生き方だし、社会はこれの上に成り立っていると思う。

ところで、戦争反対と叫んでいる人たちにとっては、戦争は最悪の状況であり、自分たちが戦争をしようと思わなければ、戦争は起きないものだと思っていると思う。

でも僕は違うと思う。

戦争は最悪の状況ではないということと、戦争にもいろいろな段階があるということ、これらの点について主張をしたい。

中国が日本を攻めてくるはずがないという考えは本当に正しいだろうか？

日本はある程度強いので、今は想像しにくいかもしれないが、中国は弱いものにさんざん食いついてきている。

チベットやウイグル族もそうだし、台湾もそう。中国は力を武器に、弱いものを支配しようとしている。

たとえば、チベットのラサ駅の前には遊園地ができてることを皆知らないだろう。

僕はそれを生で見てきた。あればほんと最悪だと思う。チベット仏教の尊厳を完全に無視している。

命よりも大事な聖地に、観覧車が作られているんだから、熱心なチベット仏教徒が抵抗するのは当たり前だ。

話を急ぐ。

中国がこの後、どういう動きをするのか、非常にわかりにくいので、日本は力をつけていったほうが良いと思う。

もし、日本が中国化して、今の中国と同じような生活をして構わないのであれば、何も中国に逆らう必要はない。吸収されて、中国の一部になればいい。

でも、多くの日本人はそれを望まないし、安部さんはそういう日本人のリーダーだ。中国の一

部になるくらいなら、死ぬ気で抵抗したほうがマシって考えだろう。

日本には日本的な精神と伝統があり、それは命をかけて守られてきた。

それを簡単に放棄しても構わないと思う人もいるかもしれない。

それはそれでひとつの価値観だが、「日本国」がそういう考えでないのは当然だ。

なぜなら守るべきものを守ってきたからこそ日本があるからだ。

そうでなければ、すでに日本は存在していないはずだ。

これが一点目。

二点目。

戦争といっても、即全面戦争、即核戦争になるわけではないということも忘れてはいけない。

日本が踏みにじられるくらいなら戦うぞ、ということが前提だが、全面戦争を避けるために、局地戦を有利に戦う、核戦争を避けるために、局地戦を素早く片付ける、という考え方もあるはずだ。

たとえば、アルカイダが勢力を拡大する前に、ウサマ・ビンラディンを殺害したのも局地戦だと思う。

局地戦は、全面戦争を避けるための止むを得ない手段だと思う。

日本にとっての戦争とは、70年前の全面戦争をイメージしがちだが、実際に世界で起きている戦争は、全面戦争とは違う。

戦争反対と叫んでいる人たちは、「戦争」をひとくくりに考えていないだろうか？

最悪の全面戦争を避けるために、有利に局地戦争をすることもあるし、局地戦争の実力を身につけることも重要だと思う。

また、米国には非常に優秀な特殊部隊がいる。

日本の自衛隊はそのエリート部隊と共同訓練を重ねている。

安保法案についていえば、米国のいいなりという側面もあるが、非常に軍事力の強い米国を味方につけるということは、日本の戦力という観点からは重要なことだと思う。

ここでいう戦力とは何も全面戦争だけの話ではない。

局地戦を圧倒的な力で勝利するのも平和のためだ。

あとは抑止力というものがある。

中国との戦争に勝てるか負けるかという観点だけでは語れない。

戦争を起こす気にさせないための力が必要だし、中国が強くなればなるほど、より強い力が求められる。

生々しい人間や社会は「力」で動いている。

論理や理屈だけ成り立っているわけではない。

そこが見えないアマちゃんが、戦争反対と叫んでいると思う。

とりあえず、乱暴な意見かもしれないが、戦争反対という人たちに向けて、自分の考えを荒っぽく書いてみた。



東村アキコ『かくかくしかじか』って自伝エッセイ漫画が面白かった。破天荒な絵の先生を師と仰ぐ作者の自伝で、破天荒な先輩芸人を師と仰ぐ後輩芸人の小説とも若干かぶるんだけど、この漫画のほう断然文学だなあ、俺にとっては。共感や切なさの質が全然違う。どっちも映像化されそうだから、比較しても面白いかもね。

さてさてまずまず、意見の食い違いについてだけど、それぞれ育ってきた環境が違うから、好き嫌いはイネメナイ。つまりは単純に『セロリ』なのさ。

ましてや立場があるから、すれ違いもしょうがない。今、この国の左右の争いには、左派系団体と宗教右派等が絡んでる事実があるよね。集団の論理や金儲けのためにイデオロギー対立が利用されてる。

更に立場に関連した話で前から書きたかったんだが、「人は自分に関係ない悪口をウダウダ語りたい」って暗黒面があるよ。

Uは自分の結論を当たり前すぎてつまらないって書いたけど、核心は常に当たり前すぎてつまらないんじゃないかな。「時代は軽くなる」とかね。

俺もずっと、「結局自分の身は自分で守るしかなくて、努力して自分に実力をつけて自己実現するしかない」って当たり前のつまらない結論を書いてきた。でもその逆は「自分は一切努力せず、自分とは関係ない他人事についてグダグダ悪口をこねる」だよ。なぜなら楽だから。

そして更に人間には「自分が不幸なら他人も不幸になれ」と願う暗黒面もある。もちろん個人差があるけど、他人の不幸を願い続けて遂には殺人を起こす人もいる。

これは俺自身に対する戒めでもあるんだけど、有名人がネットの書き込みに対して「何も努力しない奴が、努力する人の悪口言うな」って意見するけど、それは無理だって思う。

「何もせずに悪口しか言わない、努力しないネット民」にとっては、悪口だけがこの世という地獄を生きる精いっぱい自己実現なんだよ。コネも金も実力も努力も運も外見も中身も成功も何も手に出来ない立場のネット民は、悲しい哉、悪口で鬱憤を晴らすしか今日を生きる糧がない。働き蟻と一緒に、そういうダメなネット民がいるから、コネも金も実力も努力も運も外見も中身も成功も兼ね備えた有名人が目立つんだよ。

弱肉強食の世界で、飢餓で子供が死ぬ国から搾取して富を得る国があるように、失敗者がいるから成功者は輝ける。のび太がいるからジャイアンは鬱憤を晴らせる。思いやり予算やら治外法権やらで米軍は駐留できる。

失敗者であるネット民は自分を含めた世界を死ぬまで恨み節るだろう。自分が明日どう努力すれば成功するかという、現実的な話題では解決しないストレスを、自分とは直接関係ない、解のない左右の争いに放擲して誤魔化す。そういう発散も確かに文化の一つの効用だから、そもそも進展するはずがない議論だって場合もある。

そういう争うための争いに対する正当な解はたぶん、とにかく自分だけは明日の自己実現のために頑張るしかないって、ごくごく当たり前の結論だろう。

あと弱いものを食い物にするのは、世の常でしょ。中がチベットにひどいことしてるのは知ってたけど、遊園地は知らなかった。ただ人によっては、「沖縄の米軍基地だってよほどひどいじゃないか」って言うと思うよ。

安保については少なくとも、米側のレポートを忠実になぞった法案だって事実があるよね。宗教右派と、左派系団体と、対米従属等について語ると問題が多いから、メディアは大抵そこを避けて語るけど、俺らみたいな素人の「うまうましかじか」がそこを知らながら議論を避ける理由はない。

ちなみに最近、中のバブルはすぐ崩壊して米は一強覇権国として君臨し続けるから、結局この国は安保で対米従属しか生き残る道はないって記事も読んだ。この国は結局中と米、どっちかの属国になるしか選べない自虐史観の国なのかね。

あと、Uの意見で根拠がない部分だから以下は明確に否定する。

「中の一部になるくらいなら、死ぬ気で抵抗したほうがマシ」って考える権力者は、この国にはいない。もしこの国がホントに中の一部になったら、権力者は間違いなく中に媚び売って自己保身に走るね。今までだって対米従属による自己保身のみで、五輪でも原発でも年金でも責任を一切取らないこの国の権力者が、どんな場合でも宗主国に抵抗なんて破滅を選ぶワケがない。

Uは、それこそ憲法の三大原則を否定する議員の「未公開株釈明会見」じゃないけど、自分が根拠もなく権力者に期待しすぎるお人よしで、支持者にご迷惑おかけし申し訳ありません、今後は皆様のご意見をうかがい再出馬をゴニョゴニョって釈明会見してもいいんじゃないかな。この国の権力者になれるのは、自己保身のためなら象徴だって簡単に差し出す人種だけだよ。

それにこの国を守るって言うけど、この国で一番強い権力を持つてるのは、対米従属の金持ち老人だよ。「米の若者が血を流しているから、この国の若者も血を流さなければいけない」って主張するのも、自分は血を流さない立場の老人だよ。

つまり貧乏人の若者が金持ち老人のために血を流すのが現実であり、安保だよ。安保で維持されるのは、対米従属の金持ち老人の権力構造であり、良くも悪くもそれ以上の意味はない法案だと俺は思ってる。

最後に抑止力についてだけど、この法案は中途半端で、抑止力には足りないと思うね。米側が望んでるのは、某J隊員は前線で米兵の弾除け要員になれって法案でしょ。でもそんなの通したら首相の支持率が永遠のゼロになっちゃうから、法案にたくさん歯止めを設けてる。せいぜい「貧乏人の流血以上、戦争未満法案」じゃないかなあ。

でも後方支援程度の貢献じゃ、実際に日中で小競り合いが始まっても、本当に米が日側につくかもあやしいと俺は思う。

というワケで俺の考えをまとめると、この国は今後、右肩上がりで成長を続けるような見込みも市場もないから、このまま衰退していくと考えるのが最も現実的だろう。

だから国内市場のパイが減少する今、現実を一番理解してる権力者たちは自分の取り分を減らさぬよう、貧富の差を拡大させる政策を出し続けている。今後、中華バブル崩壊以外にもシェールガスやら年金やら派遣やら雇用やらの崩壊が現実化しても、権力者だけは生き残れるようにね。

俺の考えでは、左右の争いも所詮、権力者によるただの時間稼ぎだろう。

更にUが指摘した非人道的な遊園地は、つまり米と争いにならない範囲で中が属国扱いで建てたものだろう。同様に尖閣問題やら東京の不動産買い占めやら、中は今後も日米と全面戦争にならない範囲で、物理的、経済的に圧力をかけてくるだろう。

それに対して、中のバブルが今後崩壊するにしろ維持されるにしろ、この安保には中の繁栄を阻んだり逆に促進したりする効力は、もちろんない。ただ米にコネのある権力者が、貧乏人の命を危険にさらして自己保身するためにある法案だって結論だよ。

さて、今回はこんな感じなんだけど、これじゃちょっと足りないな。

もう少し続くよ。





最近、新旧の『ドラえもん』を見比べる機会があって、やっぱ昔の『ドラえもん』は表現も言葉づかいかも荒っぽくて、ジャイアンのいじめものび太の報復も強烈だった。

そこでいろいろ考えた結論から書くけど、のび太は子供時代のF先生を投影したキャラクターであり、いじめられっ子が感情移入して、いじめっこを返り討ちにする爽快感や、明日を生きる元気や勇気、それにちょっとしたアイデアやアクションのヒントを授けてくれる、それが『ドラえもん』の最も重要な魅力だろう。

未来の道具やドラえもんと友情、のび太の成長も大事だけど、いじめに負けたくないという子供たちの共通した思いがあるから、世代を超えてこれだけ世界中に広まったんだと俺は思う。

だから、「のび太が可哀想。いじめを助長する」って理由で、ジャイアンがのび太をいじめる回だけ放送しない国もあるってネットで見ただけ、それは仏作って魂入れずであり、猫型ロボット作ってドラえもん入れず、だと俺は思う。

文化に対する抗議って超要約すると「可哀想」「助長する」って形にまとまる気がするけど、それでは実際、アニメの中でジャイアンがいじめをやめたとして、現実のいじめがなくなるか。答えは簡単だ。ジャイアンがいじめる前からいじめはあった。そしてジャイアンがいじめをやめたからといって、現実のいじめは当然なくなる。文化が自粛／萎縮して表現をやめたら、問題を無視して現実から離れるだけだ。

子供時代のF先生と同じいじめられっ子がのび太に共感し、明日を生きる元気や勇気、アイデアやアクションのヒントを得て欲しいという思いで、F先生は『ドラえもん』を描いたはずだ。

子供時代のF先生は何をしてもダメで、漫画だけが生きがだったそうだ。そういうダメな子供にとって『ドラえもん』は逃げ道の一つであり、文化の重要な役割の一つだと俺は思う。

現実のいじめを描かなければいじめられっこは無視されたままで、現実には届かない単なる空想には、共感を呼ぶ魅力はない。

つまり今、福島の公的な会議では結局「小児甲状腺ガンが過剰に発生してるのは間違いない」「ただ、過剰に診断・治療され、実際は手術しなくても大丈夫な小児が手術されている」「もちろん手術は全例、過剰診療ではなく適切に実施されているが、今後どのくらい症例が増えたら異常かも含めて検討したいので、研究を続けたい」「そのためには、被曝による甲状腺ガンの過剰発生は考えにくいという表現はやめて、被曝による可能性は小さいが否定できない、という言い方に変えよう」「今後も過剰診断かどうかの結論は出ないだろう」「甲状腺ガンになった小児一人一人を今後も調査するが、被曝との因果関係については不明で、どこまで調べても結論は出ない」って結論になった。

過剰発生である点や結論が出ない結論である点も含めて、この国では自分で調べにいかないかぎり無視され、ほとんど何も報道されなくなった。

福島の公的な会議や世界の学会にも出席した岡山大の疫学教授の話じゃ、「甲状腺ガンの多発はスクリーニングでは説明できないほど速く異常だけど、中国も日本も同じアジアだから、国体

のために国民がないがしろにされても仕方ないって世界から思われてる」 そうだよ。

とっくの昔にこの国は中化しちゃってるっっちゃうかな。そういうオチです。

どうかな？



考えるウマシカ～第虹十七回 『ドラえもん』と「うまうましかじか」～

<http://p.booklog.jp/book/101131>

著者：弦楽器イルカ+友人

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/gengakkiiruka/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/101131>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/101131>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ